

学年

教科等

単元等

活用アプリ

小6

算数

拡大図と縮図

オクリンクプラス
 選択肢集計
授業
内容

拡大図、縮図の意味や性質について理解する

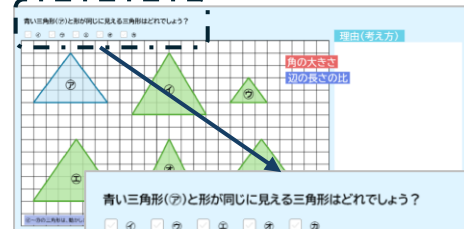
準備：

- ・共有コードを使用してカード①～③を取得する。
- ・みんなのボードに「ボード①」と「ボード②」を用意する。
- ・準備したカード①～③を子供たちのマイボードに送信する。

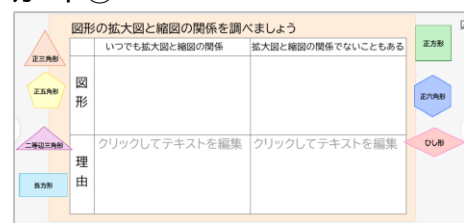
授業の流れ：

1. マイボードに送られた「カード①」を各自で開き、青い三角形と同じ形の緑色の三角形を探す。三角形は動かすことができるから、緑色の三角形を動かして青い三角形に重ねながら、辺の長さや角の大きさに着目して同じ形かどうかを調べていく。当てはまるものを決めたら選択肢にチェックを入れ、その理由も入力する。完成したら、全員共有の「ボード①」にカードを送る。
2. 「ボード①」に全員のカードが集まったら、先生は選択肢集計を行い、集計結果や理由をクラス全体で確認する。
3. グループで話し合いながら、「カード②」にある基本的な平面図形について、拡大図と縮図の関係になっているものとならないものを分類し、その理由も考えてまとめる。（「カード③」にはヒントとして動かしたり重ねたりできる図形パーツが配置されているため、図形を実際に動かして確かめながら考えていく。）
4. カード②が完成したら代表者がボード「ボード②」にカードを送る。
5. グループごとに、基本的な平面図形の拡大図と縮図の関係について「カード②」にまとめた内容を発表する。

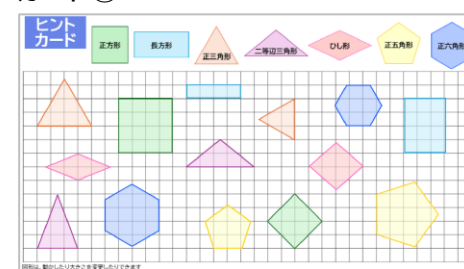
カード①



カード②



カード③



共有コード

 共有コードを入力、または
 カメラを起動して
 二次元コードを読み込む


pb01M2N00CR09KPFAYNSTMTVZZY9

サポータ
おすすめ
ポイント

- ・図形を実際に動かしたり重ねたりして確かめることで、「対応する角の大きさは等しい」「対応する辺の長さの比は等しい」といった拡大図・縮図の性質を、根拠をもって理解することができます。



図形を選択し、青い枠の四隅を引っ張ったり縮めたりすると、**等倍**で大きさが変わります。